

善行 ぶくわらい だより 第8号



発行 2021(令和3)年3月10日
編集 善行地区郷土づくり推進会議
広報部会
事務局 善行市民センター
〒251-0871 藤沢市善行1-2-3
TEL 0466-81-4431
FAX 0466-81-4441

善行地区 郷土づくり 推進会議

「郷土づくりの推進会議」は市内各地区に設置され、市民や地域団体等の参画により、それぞれの地域特性を活かしたまちづくりを推進するための会議体として、地域の意見集約や課題解決に向けた方向性の検討などを行っています。「善行地区郷土づくり推進会議」では地区独自の基本方針、『みんなが元気で、だれにもやさしい 坂のまち』を掲げ、まちづくりの事業に取り組んでいます。



富士見坂から望む富士山

議長・副議長

「善行地区への想い」



渡邊議長

子どもが生まれる前夜に、たまたま見た広報で郷土づくり推進会議のことを知り、子どもたちの未来のために何か手伝えればと公募委員へ応募してから6年が過ぎました。委員として善行地区の事業に関わる中で、常に「子どもたちの未来のために善行がどうあって欲しいか」を考えながら活動しています。郷土づくり推進会議が、善行地区の皆さんにとってちょっと気になる存在になれるよう今後も頑張りたいと思います。



菅原副議長

地域住民が主体となって自分たちのまちを自分たちでつくっていく、ということは大変なことだと思います。「キョントヨするまち。藤沢」で、善行のキョントヨするポイントを多くの皆さまと共有し増やしていくことが、暮らしやすいまちづくりにつながるのではないのでしょうか。



有田副議長

郷土づくり推進会議がその一翼を担うことができるよう、メンバーと共に知恵と力を合わせます。

この度善行駅前新栄会より参加させていただくことになりました。こつこつと地域活動に携わる機会をはじめた上、副議長という大役を任せられ戸惑ってはおりますが、諸先輩方にご指導を受けながら少しでも善行を盛り上げる力になればと考えております。コロナ禍で色々と制限される中ですが、皆で知恵を絞って意義のある活動を行っていければと考えております。

地区全体集会

例年行っております「善行地区全体集会」は、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を見合わせることにしました。地区全体集会は、地域の課題に対して郷土づくり推進会議がどのように検討・協議し、取り組んでいるかを発信する場であるとともに、地区住民の皆様へ、貴重な意見をいただく重要な場でもあります。コロナ禍の一日も早い収束を願うとともに、安全に開催できる状況になりましたら、改めて全体集会を開催できるよう準備をしてまいります。

また同様に、コロナ禍の影響により、本紙の編集作業が行えなかったことから、昨年2月に開催した令和元年度全体集会の様子についてもお知らせができておりませんでしたので、大変遅くなりましたが概要のみを報告させていただきます。



【令和元年度全体集会】
期日 令和2年2月8日(土)
会場 善行公民館多目的ホール
参加者 第一部 64人
第二部 77人

内容
第一部
(1) 郷土づくり推進会議の活動
(2) 地域福祉推進に向けた取組
(3) 地域活性化に向けた検討・取組
(4) 高齢者等移動支援の取組
第二部
ミニ・コンサート



ミニ・コンサート 演奏：ぶくわらい

いただいた主なご意見

- ・善行は富士山がきれいに見える。ホットスポットを作っては。
- ・駅周辺の整備事業は周辺住民だけでなく駅利用者の声も聴くべき。
- ・青少年に郷土や故郷について考えてほしい。青少年が高齢者をサポートしていく仕組み作りが必要。
- ・子どもが楽しく過ごせる居場所をつくるのが課題。
- ・商店街がもっと活気づくようなイベントや計画を。

各部会の活動

地域活性化部会

善行駅前新栄会の会長をはじめ、駅近隣の自治会長・町内会長、そして今年度改選された郷土づくり推進会議の一部メンバー計15人で、引継ぎの難しさを感じつつ地域活性化部会は活動しています。



大きな図面を前に検討・協議が行われます

(1)善行駅周辺地区バリアフリー検討会で平成29年度に取りまとめた「検討会報告書」の整備方針に基づき、「教育センター南通り線」の整備が実施されるとともに、次の整備予定である「善行5号線」と「善行12号線」について具体的な整備内容の検討を行っているところです。



「善行12号線」については昨年度の地区全体集会や「ぜんぎょうギャラリー」でのポスター掲示などで地域の皆様に整備内容の説明をしてきましたが、より多くの方々に周知するために昨年12月19日・22日の朝と夕方に、歩道が広がった道路の様子を体験していただきました。合わせて街路樹の配置や樹種等も検討しています。早期の整備を目指し、引き続き整備内容の検討を行っていきます。



実証実験には推進会議の委員も立ち会いました

(2)コロナ禍の影響で冷え込んだ経済の活性化を図るために藤沢市が発行した『ふじさわ元気回復プレミアム商品券』。善行地区の元気回復のために商品券を多くの方々に善行で利用していただけるよう、利用できる店舗を記したチラシを作成し、回覧しました。



※一部掲載しきれなかった店舗があります。申し訳ありませんでした。

(3)平成23年に発行された『ふるさと発見!マップ』。10年を経て要修正箇所も見られるようなのでマップのリニューアルを検討しています。善行地区の見どころをメインテーマにし、善行地区で生活する方々には善行の再発見をしていただけるように、またそれ以外の方々には善行に興味を持っていただく、善行を訪れたいくなるような、魅力的で楽しいマップを目指しています。併せて、案内図看板なども見直しています。



駅前の案内看板も古くなっています

(4)人と人が交流してまちが活性化していくのではないかと思います。今までは考えられなかったコロナ禍での、密閉・密集・密接を防止する生活が続いています。昨年度開催された『善行マルシェ』を継続していくために新しいアイデアを検討していきたいと思っています。他にも『善行フロンティア』となるものができたらいいなあ等、夢のある案も出ています。少しでも地域活性化に繋がる活動ができればと思います。



令和元年度に開催した活性化事業「善行マルシェ」のワインセミナー(協力:メルシャン(株)藤沢工場)

地域福祉部会



「団地の井戸端会議」(2019年11月)

平成30年度から新たに活動を始めた当部会は「支えあうまちづくり」を目指し、活動しています。活動の基本は自治会・町内会等を中心とした小さな単位で行われている様々な取組に対し支援を行い、善行地区全域にその取組を広めていくことです。地域の「わ」は昔から人間の暮らしの大地の上に密着していました。地域の活動は、私たちが「やりたいこと」・地域が「求めていること」・私たちが「できること」の3つを組み合わせています。あなたも地域活動に参画しませんか。



〔1〕協議体「みまもり善行」と連携して活動

善行地区協議体「みまもり善行」ではお住まいの地域に関して日頃感じていることを、お茶を飲みながら自由に話し合い、その声を地域の取組につなげていく「コミュニティ・カフェ」を、地区内各所で開催しています。

コミュニティ・カフェの開催

石原谷市民の家・善行団地・亀井野団地・八洲台と、各地区で「コミュニティ・カフェ」を開催してきました。今年度はコロナ禍のため「コミュニティ活性化に向けたアンケート」を実施、立石市民の家の周辺地区を対象に、準備会を3回開催し進行中です。

- ※周辺地区／①立石町内会②渋沢台自治会③新富士見自治会④亀井野住宅自治会⑤立石ハイツ自治会⑥伊勢山辺町内会⑦第一伊勢山辺町内会⑧伊勢山辺中央町内会



藤沢市

〔2〕終活「出前」講座

令和元年度は、7月に終活セミナー「入門編」を善行公民館で開催しました。また12月に石原谷市民の家でより具体的な内容の出前講座を開催しました。(地域の居場所「ぶらっと」と共催)今年度はコロナ禍の影響で規模を縮小し、感染防止対策を講じながら善行町内会館で出前講座を開催しました。

〇終活セミナー「出前講座」第3弾

- 日時 令和2年11月30日(月) 午前10時～11時30分
- 場所 善行町内会館
- テーマ 最期(さいご)まで自分らしく暮らすために
- 内容 ①終活ノートの書き方 ②かかりつけ医 ③ACP(人生会議)
- 講師 市医師会在宅医療支援センター 黒坂由美子氏
- 共催 ほっこりサロン
- 参加者 20人

高齢者等 移動支援部会

地域交通は住民の人権と生活を守る上で不可欠な社会資本です。社会の高齢化が進む中、交通弱者の足のため助け合いの「わ」を進めたいと考えます。

〔1〕善行西部地区における交通不便解消の提言とその後の経過

〔背景〕善行西部地区においてバスサービスに関するアンケート調査を実施し、その結果に基づく藤沢市への提言を、令和元年度に行いました。その後、市と協力しながらバス事業者に伝える提言内容を具体化しました。

〈提言書の主な内容〉

- ①朝(8～10時)の時間帯の増便
- ②藤35系統(藤沢駅～荏原工業団地)の路線を善行駅まで延伸
- ③善行駅における電車とバスの連絡(発着時刻)の改善、配慮

〈現状〉バス事業者においては、運転手不足の深刻化や、コロナ禍による利用者の減少などで事業展開に影響が生じ、一部路線で減便が実施されるなどしています。

〈今後は〉コロナ禍により部会活動も影響を受けていますが、昨年12月からバス事業者との意見交換などが始まりました。今年3月頃を目指し、一定の方向性が見いだせるよう、取組を進めます。

〔2〕善行東部地区における「のりあい善行」の報告

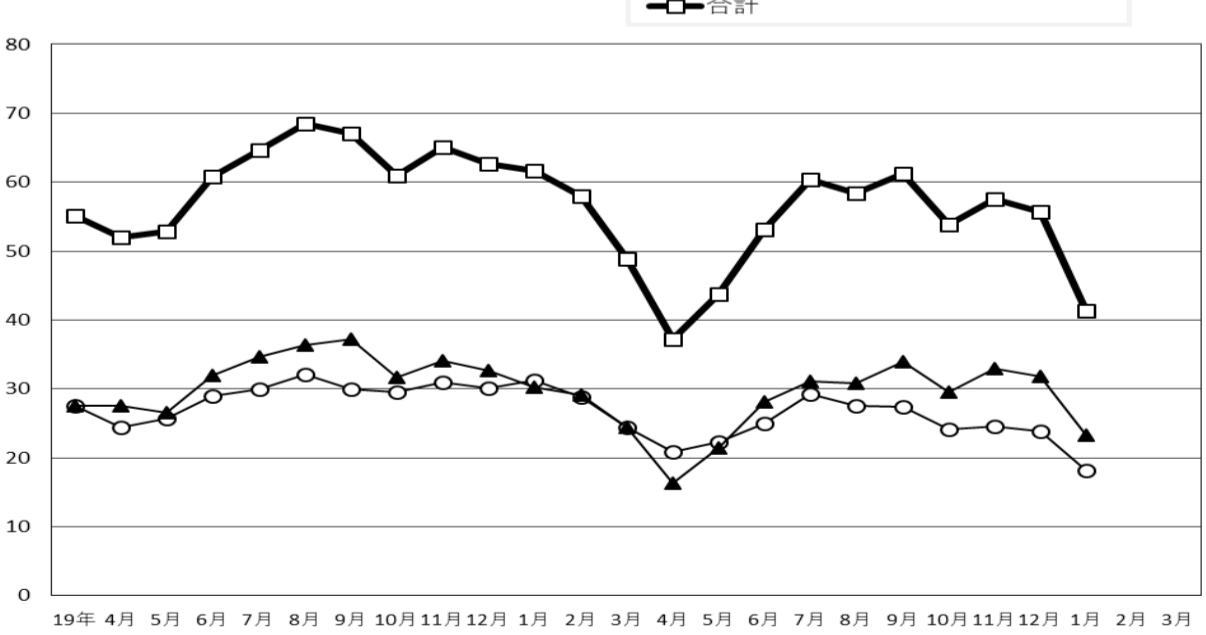
善行地区の皆様のご協力・ご支援のもと、「のりあい善行」の運行も5年目に入り、令和元年度の乗車人数は1万4千5百80人の実績がありました。善行東部地区の「足」として定着し、利用されています。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、地域住民の生活



活動が激減、利用者も運営側も心身ともに苦しい状況にありますが地域の「助け合い」と「見守り」で感染拡大防止に気を付けながら、頑張っています。

19～20年度利用状況



2021年乗車人数 1月

運行日	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/12	1/13	1/14	1/15	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	計
曜日	月	火	水	木	金	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
天気	☀	☀	☀	☀	☀	☁	☁	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	
1系統 (亀井野団地方面)	19	21	28	18	18	21	21	15	22	23	11	16	13	18	22	20	7	14	17	344
2系統 (立石公園方面)	24	22	20	10	37	17	20	23	34	27	20	16	17	27	33	26	27	16	26	442
計	43	43	48	28	55	38	41	38	56	50	31	32	30	45	55	46	34	30	43	786

記入日1月29日終了までの平均 41.37 人/日

コロナ禍における 各地域団体の活動状況等

令和2年の初め頃に国内での感染が確認され、その後1年以上にわたって猛威を振るっている新型コロナウイルス。その影響で、各地域団体の活動は中止や変更を余儀なくされています。

年度当初の各団体の総会に始まり、多数の住民の接触機会となる事業やイベントはほとんど実施ができません、その対応に向けた打合せや会議も思うように開催できない

状況が続いていますが、各団体は協議・検討を重ね「今できること」を模索し、実施しています。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための消耗品や消毒液などを地区内の学校や福祉施設に提供する支援や、事業に代わって啓発や注意喚起をする、啓発チラシや啓発物品の作製、配布など、新たな発想や工夫により「今できること」に取り組んでいます。

中止・変更となった事業(抜粋)

【各団体共通】

- ◇令和2年度総会(書面開催に変更)
- ◇善行公民館まつり(「ぜんぎょうギャラリー」として展示のみ開催)

【自治会連合会】

- ◇新任自治会長・町内会長説明会◇防災リーダー講習会◇防災連絡会議
- ◇防災講演会◇合同視察研修◇地区総合防災訓練◇新春のつどい

【交通安全対策協議会】

- ◇各種交通安全キャンペーンと推進会議(一部)◇交通安全街頭指導(一部)
- ◇自転車マナーアップ運動・自転車街頭点検◇高齢者交通安全教室

【生活環境協議会】

- ◇ごみゼロクリーンキャンペーン◇市内・市外視察研修◇一日清掃デー
- ◇環境啓発事業(実施方法を変更)◇美化推進会議
- ◇2020年おもてなしクリーンキャンペーン

【防犯協会】

- ◇防犯グッズ配布◇防犯講座◇全市一斉パトロール◇繁華街環境浄化パトロール
- ◇定例パトロールは一部縮小

【社会福祉協議会】

- ◇ふれあい子育てひろば◇ふれあい地引き網大会◇楽しく食べよう会◇敬老会
- ◇しめ飾りづくり◇福祉講演会◇認知症サポーター養成講座
- ◇ふれあいいもほり大会(配布のみ実施)

【青少年育成協力会・三者ふれあいネットワーク】

- ◇真夏の子どもフェスティバル◇夏期パトロール◇レクリエーション事業
- ◇教育文化のつどい

【その他】

- ◇善行発！子育て応援メッセ◇おばあの市場 など

問合せ先：善行市民センター地域づくり担当 TEL81-4431

着々と進む善行地区のまちづくり



善行市民センター改築

善行市民センター改築事業の第1期工事が竣工し、令和2年1月に本館棟がリニューアルオープンしました。お披露目としての開所式(新春のつどいと同時開催)や、令和元年度の地区全体集会などで多くの方に新しい建物をご覧いただきましたが、その後はコロナ禍により利用の休止や制限が相次いでいます。少しでも早く事態が収束し、地域の方に存分にご利用いただける日が来ることを待ち望んでいます。第2期(健康プラザ棟)の工事は間もなく着工、令和4年3月オープン予定です。◇工事の詳細についてはお問合せは善行市民センター(81-4431)まで。

善行駅前及び周辺道路整備

善行駅前及び周辺道路については、バリアフリー化工事が順次進んでいます。令和元年には東口、令和2年には西口の駅前広場が整備されました。合わせて、周辺の道路についても歩道の拡幅やセミフラット化(歩道と車道の段差を解消)など、歩行者の安全性や快適性を高めることを目的に整備を進めています。

計画を進めるにあたっては、地域住民へのアンケート結果のほか郷土づくり推進会議の部会や定例会での活発な議論や意見交換を踏まえ、年次計画や工事手法について多角的に検討しています。



今後は、環境への負荷や防災面での課題なども新たな視点としながら、さまざまな整備事業についても研究・検討していきたいと考えています。

◇詳細についてはお問合せは道路整備課(50-3547)まで。



【あしがき】

◇「コロナ禍の影響は、大規模イベントだけではなく、少人数の会議や打合せにも及んでいます。◇そのことが、「コロナ禍にどう対応していくのかを協議・検討することすら困難にしている、日々いろいろな面で閉塞感を感じています。◇感染防止への心構えを怠るわけにはいきませんが、過剰な反応による不安の連鎖も耳にします。◇そんな時、善行のあちこちで見られる富士山の、泰然自若とした姿に心落ち着かされます。◇富士山を見られるおススメのスポットを教えてくださいませんか?◇今後作成したいと考えているマップや案内看板に記載することを検討しています。◇素敵な富士山スポットをご存じの方は、善行市民センター地域づくり担当までお知らせください。

